

しい実の

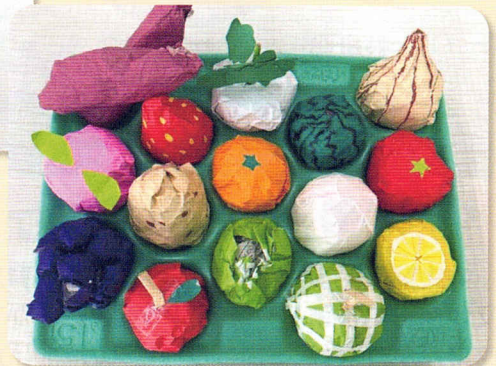
No.127

令和5年
12月1日発行

岐阜県手をつなぐ育成会 会報

～手をつなぐ育成会は知的障がいのある人とその家族、支援者の会です～

椎の実ギャラリー



127号の主な内容

- 第55回 手をつなぐ育成会東海大会報告 愛知大会 報告
- 育成会ってなあに インクルーシブ教育
- 知ってほしい 私たちのこと ～各地区育成会活動紹介～
- 私の町のきらり人
- ぎふのいいもの(益田山ゆり園)

多治見市
生活介護事業所
第4けやき
の皆さんの作品

表紙の作品募集中！あなたの作品の写真を送ってください。採用された方には、クオカードをプレゼント！

大会報告

第55回 手をつなぐ育成会東海北陸大会 愛知大会 開催

令和5年10月7日(土) 刈谷市総合文化センター アイリス

第55回 手をつなぐ育成会東海北陸大会・愛知大会

『どうする育成会』
～ 次の世代につなげていくために ～



アトラクション
「オープン・セサミ」
によるダンス



シンポジウム

おめでとうございます



岐阜県手をつなぐ育成会
副理事長 **坂垣内 孝幸** 様
さかがい と たかゆき

山ゆり園保護者会長、大野山ゆり園保護者会長、高山地区育成会副会長などを歴任され、地域の育成会活動の活性化に尽力されました。

表彰とは過大なことで大変恐縮ではありましたが、名誉なことでもあり、ありがたく受けさせて頂きました。

未熟者で出来ることは少ないですが、これを励みに障がいをもったわが子や、同じ障がいをもつ皆様の環境や暮らしがより良くなるよう、今後ともに地道に活動を続けたいと思います。

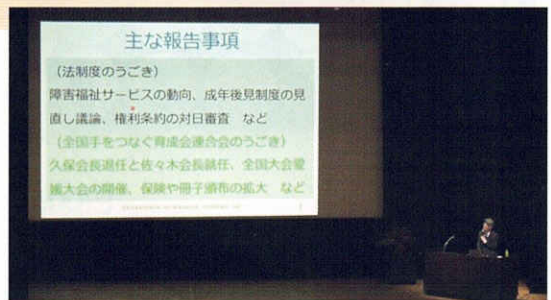
中央情勢報告を受けて

中央情勢報告では、全国手をつなぐ育成会連合会常務理事 又村あおい氏より、法制度の動き、なかでも日々の暮らしに直接かわる「障害福祉サービスの動向」が報告されました。

令和6年4月には障害者総合支援法の法改正と報酬改定が実施されます。また、児童発達支援・放課後等デイサービスは総合支援型(仮称)を基本として、親の就労に対応するための時間も適切に評価されるよう検討されます。

障がい者の居宅支援では、グループホーム(GH)からの自立を目指す人のための支援の充実、また、それを支援することに特化した「通過型」のGHの制度化、一般的なGHとは別に重度障害者も利用可能なGH整備も別枠で目標立てられ、より本人の状況に応じた生活が選択できることを目指します。今までの入所・在宅・GHという選択肢から、さらに「一人暮らし」「パートナーとの暮らし」「仲間との暮らし」など、より多くの選択肢の中から、本人が望む暮らしが実現できるような法整備へと施策の充実・強化がはかられます。

限られた時間ながら、又村氏の穏やかで温かい語り口で、わかりやすい報告でした。正しい情報で中央情勢を知るためのアンテナとしての「育成会」。当事者の、日々の、そして将来の生活に直接かわる多くの法整備に声が届くよう活動する「育成会」。どちらの面からも私たち当事者にとって「育成会」が欠くことのできない存在であると、改めて思いを強くしました。(永田 ルミ)



東海北陸大会 本人部会報告

当初、本人部会は、グループに分かれてディスカッションをする予定でしたが、参加者多数の為に代表者の発言を聴く形に変更になり、各県の代表者が壇上に上がり意見を発言しました。岐阜県の代表は鵜飼恭成さんで、「今は短い時間での利用ですが、いずれは利用の時間を伸ばし、一般就労したいです。」と今後の目標を話し、私生活では、「ポケモンのゲームの大会で、日本代表になり世界大会に行きたい。」と夢を語りました。



発表 鵜飼恭成さん



他県の方々では、一般就労されている方や、現状を語られた方など、皆さん自分の意見をしっかり持って発言されていました。その中で、1人の年配の方の発言で、会場が暖かい雰囲気になりました。その発言は、「結婚しました。」というものです。知り合って30年、紆余曲折あったけれど、両親の許しを受け結婚する事が出来た、という報告でした。会場からは拍手があふれ、お祝いムードでした。奥様も会場におられ、会場が暖かい気持ちと拍手であふれていました。

本人大会、本人決議では、障がい者に対する待遇の改善をして欲しいと言う9つの決議が採択されました。とても実感が沸き、是非実現して欲しいと思いました。

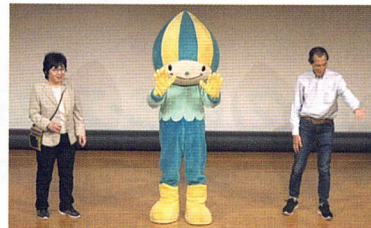
二部は、「皆で楽しもう」と題して、「知多娘。」のコンサートが行われました。歌とダンスで会場全体が大盛り上がりでした。じゃんけん大会もありプレゼントをもらえた方はとても嬉しそうでした。

最後は、今回の大会にボランティアスタッフとして参加してくれた高校2年生のシンガー、みさキングさんのミニコンサート、ギター1本で弾き語りを披露。「知多娘。」とは打って変わって、しっとり聴く事が出来ました。

会場は満員御礼で、これ以上ないぐらいの盛り上げのままたま終了しました。本人大会は、本人さんたちが生き生きと参加しておられ、これぞ育成会！という感じでした。来年は、ぜひ岐阜大会に参加しましょう！



地域のアイドル「知多娘。」さんの登場に大いに盛り上がりました



岐阜県よりミナモも参加し、来年度の来場を呼び掛けました

参加者の感想

- アトラクションは、障がいのある本人が、仲間と楽しく参加していて良かった
- 全国手をつなぐ育成会連合会からの中央情勢報告や、障害者福祉制度など最新の情報が聞けて良かった
- 本人部会は、いろいろな仲間と話せる貴重な機会であると感じた
- 重度の人たちも楽しく参加できる企画があるとよい
- 本人部会やアトラクションなどをサポートして下さったボランティアさんに感謝です
- 会場案内や誘導、式典その他運営に関して、育成会会員のほか多くの方のご協力が欠かせないことを実感した

来年度(令和6年)の
東海北陸大会は
岐阜県で
開催されます!

次回 岐阜大会のご案内

日にち/令和6年 9月28日(土曜日)

場所/岐阜県羽島市 不二羽島文化センター

みんなで楽しめる
本人部会や
アトラクションを
検討中です

育成会ってなあに？

インクルーシブ教育

インクルーシブってなあに？

カタカナ言葉に弱い私も検索してみると、『包括』とか『排除しない』『なかま外れにしない』などと出てきます。すべてを包み込むやさしい社会……つまり、私たちをつなぐ育成会が掲げている『障がいがある人もない人も誰もが暮らしやすい地域共生社会』の実現に通じているのです。国際社会が目指すインクルーシブは、障害者も含め高齢者も、貧困も、民族や性差、生活の違いなど様々な属性や多様性を認め、すべての人が暮らしやすい社会の構築を目指すものなのです。



インクルーシブ教育についての期待と不安

「できれば、地域みんなが通う学校に通いたい」と願う障害児と親は多いのではないのでしょうか。こどものころから自分たちと違う個性を持った人と関わることで「みんな一人ひとり違う」ことを認め合ったり、合理的配慮を学ぶ機会が生まれます。そうして大きくなった子供たちが築く社会では卒業後も社会参加がしやすくなります。

一方、少人数の中で手厚い支援を受けながら過ごしてきた人は、そうした環境ではなくなることを危惧しています。感覚に過敏がある人は場面によって不安定になってしまいます。ひとり一人の特性に配慮した環境の整備と専門性を持った教職員の配置など人的・物的環境の整備が必要です。

段階的ではありますが少しずつ社会が育成会の理念に近づきつつあるのを感じます。岐阜県手をつなぐ育成会も65周年を迎えました。育成会として今まで苦勞して取り組んでこられたことが早く実現するようさらに働きかけてまいります。そして、私個人も会員さん方おひとりお一人も障害者の親、〇〇ちゃんの親としてだけでなく、社会の一員として自分らしく生きられるインクルーシブな社会の実現を願っています。

(理事長 帆ノ下 久美子)

知ってほしい わたしたちのこと 各地区育成会活動紹介

西濃地区育成会活動

大垣特別支援学校との協力関係を大切にして

大垣特別支援学校は、来年度、50周年を迎えられます。西濃地区育成会は、長年、大垣特別支援学校との協力関係を大切にして、活動の幅を広げてきました。

例えば、家族支援プロジェクトなど、育成会が推進する活動に、会場を提供して下さったり、育成会の行事の参加者募集に協力していただいたり、PTA総会の場で、育成会活動を説明する機会をいただいたり、といったさまざまなご協力をいただけてきました。残念ながら、ここ4年間はコロナのため、中断している活動も多いのですが、ようやくさまざまな制限が緩和されつつあるので、今後はまた、あらたな協力関係を築いていきたいと考えています。

また、大垣市手をつなぐ育成会では、社会人である本人たちが中心となって「つくしの会」を年8回ほど開催しています。話し合い、ボーリングなどのレクリエーション、映画鑑賞、旅行、大垣名所散策など、いろいろなイベントを企画していますが、若い方たちの参加が減ってきていることが課題です。

今後は、特別支援学校との連携をさらに強化し、生涯を通じた育成会活動へと結び付けていきたいと考えています。

飛騨地区育成会活動

年金学習会 in 飛騨地区

飛騨地区では、令和5年9月13日(水)10時~12時、高山市総合福祉センター 3Fにて、障害基礎年金についての学習会を開催しました。

講師は春見鉄男氏(前育成会理事長・社会福祉士・ファイナンシャルプランナー)で、全国手をつなぐ育成会連合会作成のDVDを使い、とても詳しく、わかりやすいお話でした。

この学習会の開催にあたっては、飛騨地区の特別支援学校3校に案内文書を配布していただき、保護者の皆さんに育成会活動を知っていただく良い機会ともなりました。

学齢期のお子さんをお持ちの保護者の方々は、今はまだあまり切実ではないかもしれませんが、将来的には、必ずと言っていいほど必要になる情報だと思うので、繰り返し開催していけたら、と思います。

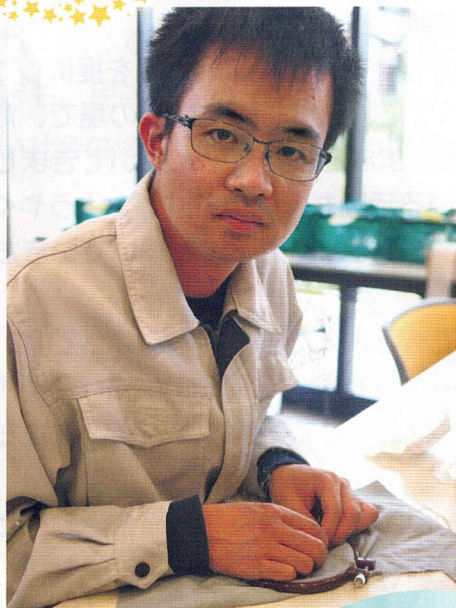


私の町のきらり人 Vol.8

の だ と も き
野田智紀さん

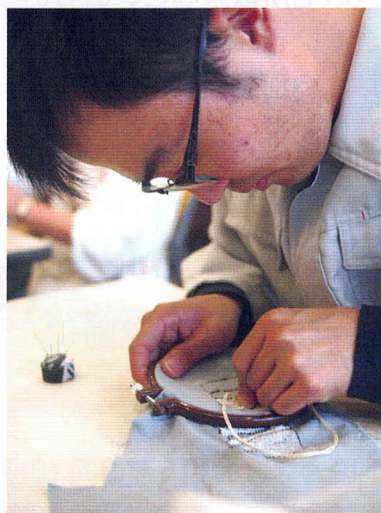
かみなり村本舗 (羽島市)

就労継続支援B型・生活介護事業所



今は木工作業、内職、
刺繍作業をしています。

刺繍作業では彼の好きな乗り物や食べ物などを
モチーフにして自分で下書きをし、計画を立てて
作業に取り組んでいます。



職員とどこまで縫うか
話し合ったり、また
色のことを聞いたりしながら
一針一針丁寧に縫っています。



メリーゴーランド

育成会行事予定

「豊かな暮らしのために」～これからの住まいと暮らし～

講師：全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事 又村 あおい氏

日時 12月15日(金) 9時50分より

場所 ハートフルスクエア-G 2階 大研修室



編集後記

コロナが明け、本来の生活が戻りつつあり、ホツとしています。

そんな中、東海北陸大会が刈谷で開催され、参加しました。本人大会の方たちが、楽しんで参加されている姿が印象的で、大会を開催する意味はここにある！と思いました。

来年度の東海北陸大会も来場された方たちに喜んでもらえるように準備していききたいと思います。

(黒木美加)



会員募集中

下記の連絡先へ
お問い合わせください

岐阜県手をつなぐ育成会

(事務所開所時間 平日9時～16時)

〒500-8309

岐阜市都通2-2

岐阜市民福祉活動センター 1階

TEL 058-253-8062

FAX 058-254-9210

E-mail ikuseig@alpha.ocn.ne.jp

困りごとなど
お気軽にご相談
ください。



一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?*

(※)ぜんち共済のお客様アンケートより

前会長の久保顧問とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちら



<https://youtu.be/fEq9QDNV6wM>

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求を
お待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

ぜんち共済株式会社

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

MAIL: gan@z-kyosai.com

(営業時間 平日10:00～16:00 (土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分

スマホでカンタン資料請求

※QRコードはデンソーウェーブの
登録商標です。



【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一部東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00～17:00)

特長1



代理手続き
代理告知が可能

障がいのある方向け
プラン

特長2



告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向け
プラン

特長3



“親なきあと”に
備える補償

障がいのある方
ご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

ぎふのいいもの

岐阜県内の事業所で障害のある人たちがつくっている「いいもの」をご紹介します



益田山ゆり園 さをり織り

益田山ゆり園では日中活動でさをり織りに取り組んでいます。
 糸の色や素材は利用者が自分で選び、一本一本を丁寧に織り込んでいます。
 それぞれが個性を生かしたオリジナルの作品です。
 販売は通常益田山ゆり園内にて購入して頂けます。その他各地域行事バザー
 などにも出店しています。



■商品詳細

- ヘアアクセサリ 300円
- ポーチ 800円
- 巾着 500円
- マフラー 1,000円～3,000円



■問い合わせ先

益田山ゆり園
 〒509-2508 下呂市萩原町尾崎 958-302
 TEL 0576-54-1240 FAX 0576-54-1262



この会報は赤い羽根共同募金の配分金によって発行されています。